

2023

同友しずおか12

VOL.541

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」
「企業も地域もよくなった！」

私の逸品

(有)ティーパワー

静岡を代表するご当地グルメ
誕生!「富士宮ニジマスサンド」

～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらった
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1097名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
おか たけのり 岡 高至	(株)イービーエム 住宅建材、材木、設備等の販売	志 太	藤浦 隆則 (東京同友会)
くさがき まさひろ 草垣 政宏	(株)MASA 保険事務所 損害保険、生命保険の代理店	静 岡	中村佐和子
くぼ たよしつぐ 久保田嘉次	(株)win-win 草刈、経営コンサル	榛 南	内田 和也
くめ みきお 久米 幹夫	(株)アスタワン ソフトウェア受託開発、人材派遣	浜 松	江間 省豪

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



静岡を代表するご当地グルメ 誕生！「富士宮ニジマスサンド」

(有)ティーパワー (静岡支部)

代表取締役 若杉 幸秀氏



店先で若杉親子

コロナ禍で異業種への挑戦

今回の私の逸品では、前静岡支部長の若杉幸秀氏を訪問しました。印鑑・印刷の製造販売を行う「駿河はんこ市」を経営する(有)ティーパワーは、コロナの影響で売り上げが最大40%以上減少し、打開策を模索していました。その窮地を救ったのは、息子である洋一郎氏でした。洋一郎氏は全国のハンバーガーやラーメンを食べ歩く中で、淡路島のタマネギを使った「淡路島バーガー」に出会い、その美味しさに衝撃を受けたといいます。そこで調査を進めると、この店のフランチャイズ展開が可能であることが分かり、2年前に飲食事業部を立ち上げ「淡路島バーガー静岡田町店」をオープンさせました。



淡路島バーガーを調理中の洋一郎氏

ります。店のコンセプトは『全国の美味しいものが集う店』。ハンバーガーの他に注目したのは日本の国民食である「カレー」でした。全国津々浦々、地元ならではの特産物を取り入れたご当地レトルトカレーを1000食以上試食し、本当に美味しいものだけを取り揃えています。

偶然が重なり生まれた静岡発の逸品

そしてオープンから2年。静岡発となる新作バーガーが誕生しました。その名も「富士宮ニジマスサンド」。パンに挟むのはニジマスの甘露煮を丸々一匹。和と洋の意外な組み合わせと豪快なビジュアルがまさかのヒットを生み出しました。

誕生のきっかけは偶然の出会いでした。今年9月に開催された「しんきんフェア」に訪れた時、偶然富士宮の特産物である「ニジマス甘露煮」に出会います。砂糖と醤油だけでじっくり煮込んだ甘露煮は、頭からしっぽまで、骨も全部食べることが出来る素晴らしい食材でした。そこで若杉親子は「ニジマス甘露煮」を使ったハンバーガーのアイデアを思いつきます。柔らかな甘露煮に合わせるパンズは、歯ごたえのあるフランスパンに。そして甘辛いタレに合う自家製

ソースを開発。マヨネーズベースのソースにアクセントとして「山椒」を加えました。うなぎの蒲焼きからインスパイアを受け、山椒を加えてみると見事に大成功。こうして偶然が重なり、逸品「富士宮ニジマスサンド」が誕生したのです。

地域の食文化を全国に発信

「富士宮ニジマスサンド」は、富士宮の養鱒組合で商品化の話が進み、今後「富士宮やきそば」と同様のブランドに育て上げたいとプロジェクトが動き出しました。まさに地域の美味しものを通じて新たな食文化が生まれ、さらに地域経済を活性化させる可能性を秘めるプロジェクトへと発展しています。この体験をきっかけに若杉氏は「全国各地の美味しいものをパンズに挟んで食べてもらいた



店内の様子



店舗外観

(有)ティーパワー

〒420-0068 静岡市葵区田町3-5-1

TEL: 054-204-8585

URL: <http://hanko1.com>

創業 1997年

社員数 正社員6名 パート4人

入会年月 2008年4月

事業内容 印鑑・印刷製造販売業、
飲食業

い」と次なる構想に胸を膨らませていきます。

取材・記事：赤石亜紀子氏 (東風・静岡支部)

取材：藤本浩氏 (プリントバリエー(株)・静岡支部)

望月康仁氏 (株)エムテック・静岡支部)

米森良偉氏 (株)Real-onico・静岡支部)

第37回全県経営フォーラム

磨け！輝け！未来を決めるのは“あなた”

開催日：11月15日(水)

会場：静岡県総合コンベンション施設 プラサヴェルデ
沼津商工会議所



フォーラムを創りあげてきたメンバーと共にあいさつする青山実行委員長

11月15日(水)第37回全県経営フォーラムが沼津市のプラサヴェルデと沼津商工会議所の2会場にて開催され、リアル開催では最多となる総勢351名が参加しました。全体会、記念講演、分科会の後、コロナ禍以降4年ぶりとなる交流会を開催。「仲間づくり」をキーワードとしていた本フォーラムにふさわしい、学びと交流の時間を共有しました。

全体会の冒頭、青山達弘実行委員長より「参加者が日に日に増えていくのを見ながらなんとも言えない感慨、感動を覚えました。キャラバンで何った支部の皆さんの表情、言葉を思い浮かべ、単なる数字だけではなく積み上げられてきたドラマを見てい

るような感覚でした。並んでいる実行委員

の皆さんは今年3月にスタートした実行委員会です。支部も会歴も年齢も違うなかで、それぞれの持ち味を發揮し、一丸となってここまで創りあげてきました。ここからは本日参加されている皆さんが主役です。心置きなく探しものを見つけ、お好きなだけお持ち帰りください。未来を決める、未来をつかみ取るのはあなたです」とあいさつ。ステージ前に整列した実行委員・座長・報告者の皆さんにも盛大な拍手が送られました。続いて松葉秀介代表理事よりあいさつがあり、ご臨席いただいた6名のご来賓を紹介の後、頼重秀一沼津市長、高橋良和静岡県経済産業部商工業局長からご祝辞をいただきました。

全体会終了後は記念講演、6つの分科会で学びがありました。分科会後の交流会では、同友会の歴史を楽しく学ぶクイズを実施するなど、仲間づくりのきっかけとなる新たな取り組みも



頼重市長



高橋商工業局長

行われ、最後は2024年11月28日(木)に開催される「NEXT50フォーラム」のロゴとテーマが発表され、閉会となりました。

記念講演

橋本昌子氏

(株)スパイテル 代表取締役社長／
石川県中小企業家同友会代表理事)

社員数3名のスタートから15年で
約280名に成長した道のり

薬剤師として20年以上勤務し、2008年に地域に根差した薬局として(株)スパイテルを設立。2013年には高齢者が自分らしく暮らせる有料老人ホームを開所。現在は「てまりグループ」としてスパイテルを中核に5つの会社を運営し、薬局・介護施設を含め31事業所、社員はパート含め271名となりました。同友会には2011年入会、全国交流会や女性部に参加したことで同友会の魅力を実感し2021年は石川同友会代表理事に就任しました。

「組織・能力・風土」が揃う
組織づくりに取り組み

「地域の薬箱になろう」と薬局を開設し、組織化していくも社員20名を超えた3年目、社員からの不満や指示命令が機能しないなど問題が発生。ベクトルを合わせるために会社の基盤づくりプロジェクトを立ち上げ、社長の想いや経営理念を社員に伝え、管理職を任命し中期計画や経営指針を作成しました。しかし、その後の社員アンケートで発覚したのは、社員にやられ感が蔓延し、判断基準が明確でなく個人のものさしで判

断していたこと。「これではダメだ！社員が誇れる会社になりたい！」と社員教育制度・研修制度・評価制度を確立し、企業風土の改善に取り組みます。大切にしたのは「会社が何をしてくれるか」ではなく「自分（社員）が会社にどう貢献するか」への変革。若手社員育成のため損益感覚やPDCAの回し方を学ぶ社長塾の開催、会社のルールの明確化など徹底的に社内改革に取り組みました。

サザンクロス計画（10年ビジョン）で示した未来—介護事業への進出

2013年にはメンバー6名の希望制で中期計画を策定。10年後の会社の姿を語り合い、立てた目標は売上30億、社員数200名、海外展開スタート。これらは10年目となる2023年にはほぼ達成することができました。リーダーとして大切にしていたのは常に上機嫌でいること、そしてぶれない判断基準を持つこと。そして、変えるべきでないのは理念、変えるべきは組織のカタチだと考えています。



Plaza Verde

橋本 昌子氏

「てまりタウン」（医療・介護・生活支援の統合）を構築し世の中に貢献することで企業価値も向上させることを目標に掲げました。ケアを充実させることだ

けでなく「人の幸せ」を目的に、高齢者の人格が尊重され最期まで自分らしく暮らせる家をつくりたいと「住宅型有料老人ホームひなの家」を開所しました。

てまりバリュープロジェクトでお互いを高めあう

社員の専門性と理念・人間性の二つの柱があつてこそ企業は前進することができま

2015年に始動した「てまりバリュープロジェクト」では「誠実と思いやり」「日々の研鑽と実践」など仕事内容・立場に関わらず大切にしたい「てまりグループ」のバリュー（価値）を社員と共有・発信していった結果、チームワークが良くなっていきました。

日本一のてまりケア、六方よしの実現を目指す

2023年度の経営指針発表会では「日本一のてまりケアで六方よしの実現を本気で目指す」と宣言しました。六方よしとは職員・お客様・運営・世間・地球・未来の6つにとってよいということです。それぞれについて具体的な指標を掲げて取り組んでいます。また、国内市場が縮小する中で持続的成長を続けるため海外にも事業展開しています。

同友会の学びは緊急ではないが、重要なものです。経営の本質である「人間尊重の経営」を学べるのが同友会です。同友会で学び、経営計画をたて行動し、描いた「未来」を実現していきましょう！

分科会テーマ・報告者紹介

各分科会の参加者感想は次ページに掲載

第1分科会



滝川 浩氏

幸せは健康から!!
報告者：滝川 浩氏
(肩こり腰つう倶楽部/沼津支部)

第2分科会



小川 友代氏

「お休みの日の食事が困るの」
～お客様の小さな声に寄り添い、未来に繋ぐ新事業への挑戦～
報告者：小川 友代氏
(㈱仕出しおがわ/富士支部)

第3分科会



塩見 康平氏

俺たちがやらなきゃ誰がやる!!
～挑戦して創る
新しい事業定義～
報告者：塩見 康平氏
(㈱オミブランテック/榛南支部)

第4分科会



古川 一郎氏

社員と共に生きる会社づくり
～変わる私が変わる未来～
報告者：古川 一郎氏
(㈱一電工/三島支部)

第5分科会



竹内 昭八氏

次世代へ繋ぐ50年の歴史と想い～歴代表理事が語る同友会運動と企業経営は不離一体～
パネリスト：竹内 昭八氏 (㈱タケウチ/富士宮支部)
藤原 博美氏 (㈱日本ベルト工業/沼津支部)
井上 斉氏 (ワシロック工業㈱/静岡支部)
コーディネーター：伊藤 嘉浩氏 (プルデンシャル生命保険㈱浜松支社/浜松支部)



藤原 博美氏



井上 斉氏



伊藤 嘉浩氏

第6分科会



稲葉 純子氏

これが私の生きる道
～明るく元気に
love&happiness～
報告者：稲葉 純子氏
(有すみ企画/富士宮支部)

分科会参加者感想

〈第1分科会〉

沼津で「健康による幸せ」を理念として整体治療院とコンディショニングジムを運営している滝川氏からの報告及び自社の付加価値とどう高めていくかについてのバズがありました。滝川氏は治療院開設前の20代から様々な職業を経験し生活に苦勞することもあった中、一念発起して脱サラし治療院を立ち上げ、その後治療院事業を軸に事業の幅を広げ経営を安定させていきました。

保険診療の制限や直近のコロナでの売上低迷への対策、またコロナにより営業時間などが変わったことから平常運転に戻す際の従業員とのもめごとなど、様々な困難を乗り越えてきた話があり共感の多い報告でした。

バズセッションでは現在の自社事業の付加価値についての議論だけではなく、社会性や業界繁栄、長期的な視点での付加価値、人材採用や教育にフォーカスした発表など各グループ特徴のある意見がでて勉強になりました、第1分科会に参加してよかったです！

太田 喜貴氏 (株)キラガ・沼津支部

〈第2分科会〉

私は4月から同友会に入会（父からの名義変更）し、今回が初の全県フォーラムでした。食べる事が好きな私にとっては小川氏の報告は興味深いものでした。配送ルートなら1食からでも届ける、高齢者には歯が悪ければ食べやすいサイズに、必要ならベッドサイドまでもつていく。コロナ休校では子ども見守り隊を実現しました。地域の声を聴き柔軟に対応することは言うほど簡単なことではないと思います。小川氏は長年ためてきたお客様からの手紙や写真を社員に見せては存在価値（顧客価値）を感じてもらいお客様の要望に応えるための動機付けをしていました。これなら弊社でも取り組めるのではとひそかに思い

ました。今後の夢についても、社員や地域住民に関する内容で小川氏の根底にあるものがはっきりと伝わってきました。

討論においても、会社と地域は不離一体、自社では地域に対して何ができるのか等についてさまざまな意見が飛び交いました。改めて会社経営とは人生そのものだと感じた分科会となりました。

水野 友太郎氏 (株)榛南自動車学校・榛南支部

〈第3分科会〉

機械のメンテナンス事業をしている会社になぜ異業種の子供服専門店を立ち上げるようになったのか。塩見氏の生い立ちからのストーリーでわかりやすく伝わる報告でした。

共に事業をするご兄弟との絆、ご家族との絆、支えてくれている経営者との絆など、事業を通じて、ご自身が本当に手に入れたいのを見つけた経緯を聞いて、多くの参加者が「自分は何のために経営しているのか？」について改めて考える機会になったと思います。

バズテーマは「変革はゴールじゃない！あなたは未来を描いていますか？」。テーマにむけて「世の中に合わせて変化することも大切だが、自ら新しい変化を起こすことも大切」「ビジネス環境だけでなく、人材も変化しているからマネジメントのあり方も変化が必要」「変革の中にも自社らしさは残すべき」など様々な意見が出ました。

お金持ちになりたいという想いで事業を立ち上げ、同友会での学びを蓄積した結果、お金は手段であることに気づき「希望を形にし、笑顔を未来に繋ぐ会社」と新たな事業定義を導いた塩見氏。私も同友会で学びを深め、自身に変革を起こし実現したい未来を描いていきます。

森田 拓真氏 (ピクシス・三島支部)

〈第4分科会〉

同業種の先輩で身近にこんなにも素晴らしい方がいたとは思いませんでした。電気工事業の職人から独立して会社を始めた古川氏のキャリア。そこから火災報知設備の施工までを独学で学び自社施工していくのは私の父親である先代社長のキャリアと全く同じで、たくさん働いては苦しみながらもがき、社員を雇用し、そして元請けになる事にこだわって日々遅くまで活動している姿は不思議なくらい頭の中にずっとイメージされました。特に事業拡大していく中で上手くコミュニケーションが取れず、すれ違って採用で退職してしまった社員とのストーリーの中で、自分の所作を反省し悔いては涙する古川氏を見て熱く込み上げるものがありました。いつかあの社員と一杯交わす日を夢見て、前を向く社長の姿には、カッコイイ経営者の背中を見せて頂いたと心から感じます。

(株)一電工の発展に欠かせなかったのは、やはり経営理念の存在でした。ひたすらに仕事を請けては納める日々の中で、自社の存在意義を問ひ明文化して社員に伝えていく事。古川氏の自信と右肩上がりの売り上げも全てはそこからだと。立てた経営理念が飾られた言葉で終わってしまったっていいないか、今一度自社で見直すべきだと強く感じる瞬間でした。これから古川氏を追いかけて行きたいと思えます。

渡辺 淳司氏 (株)ウェックス・伊東支部

〈第5分科会〉

同友会の「レジェンド3」非常に個性豊かなお三方の会社の歴史、同友会とのかかわり方、自身の生き方等々盛りだくさんの報告でした。労使見解を踏まえ、社員への責任をどう持つか？社員といかに向き合うか？「レジェンド3」も我々と同じ課題を抱え、同友会の学びを勇気と自信を持って実践する日々を積み重ねていました。「社員の総和が他社にまねできない良い社風を創る」「社長はい人ではダメ！」「労使関係の創造が会社を発

展させる」「社内の課題を放置しない、必ず火消しをする」「会社運営は社員の気持ち・意見を聴き権限の委譲をする」「社長は会社の未来を語る」「同友会の歴史は会員企業の歴史でもある」など、報告・バズを通して重要なキーワードが沢山ありました。その学びを参考に自身の経験とリンクさせ今後につなげる。同友会運動と企業経営は不離一体！改めて深く考えさせられる分科会でした。

大竹 政彦氏 (有)富士清掃センター・富士支部

〈第6分科会〉

「1. 全力で拍手 2. 全力で頷く 3. 全力で笑顔」この3つの約束から報告がスタート。一気に稲葉氏の世界に引き込まれ、話し手、聞き手がなにを求めているのか。常に「人が、なにを」を求めているかを追求する人柄が報告にあったHAPPY定義そのものだと確信しました。

凡事徹底を社訓にスタッフをとにかく褒め、すみファミリートと呼び「①見返りを求めない②好きだからやる③気になるからやる」まさに稲葉氏らしさに溢れていました。また報告にあった「トップは常に元気でいる」。まだ専務という立場ですが、経営者である以上、心がけ明日から実行しよう決めました。

私は父からの承継を目前に「自分らしさ」ばかりを考え「色々なことを変えなければ」と焦っていました。それは自分らしさではなく自分本位な考え方だと気づきました。社長が変わることで不安の渦中にお客様、社員を一番に想い、皆が幸せになれる方法を考え、実現にむけ全力で取り組むことが今やるべきことなのだと再認識し、大事なモノは残し、必要なモノは足していく。それはきつと自然に足され、無理に変えることではないと思えた瞬間に凄く気持ち晴れました。明日からまた「顔晴る」パワーをいただいた稲葉氏の報告でした。

俵 沙織氏 (株)東明電気製作所・沼津支部

静岡県事業承継・引継ぎ支援センターとの意見交換会 地域と中小企業の持続可能な成長、 承継をめざして

11月28日（火） 静岡県庁別館第1会議室

初開催となった静岡県事業承継・引継ぎ支援センター（以下、引継ぎ支援センター）との意見交換会。引継ぎ支援センターからは清水至亮統括責任者をはじめ3名、静岡県からは高橋良和商工局長をはじめ3名、静岡同友会からは遠藤一秀会長をはじめ8名が参加しました。

はじめに清水統括責任者より、引継ぎ支援センターの役割や取り組みをはじめ、静岡県中小企業家同友会も構成団体となっている静岡県事業承継ネットワークの体制や連携のメリットについて紹介。本ネットワークに関して「県内の全市町が参画し、財務省東海財務局静岡財務事務所など国の機関も参画していることが静岡県の特徴。

地域で効果的な事業承継支援を実施するために、関連する団体を巻き込んだより大きく、より細かな網目のネットワークを構築することをめざしている」と話がありました。最後に「事業承継の要諦は『不易流行』をいかに体現するか。そして地域における事業承継支援体制の要諦は『近所付き合い』である」とまとめがありました。

その後の意見交換では、事業承継税制の

特例措置を活用した事例報告や女性の事業承継における実状、経営計画に事業承継計画を盛り込む重要性、経営者と後継者のコミュニケーションに関する取り組みや課題など自社や地域の現状と照らし合わせた議論が行われ閉会となりました。



引継ぎ支援センターの皆様と高橋局長（中央）を囲んで

第20期経営指針を創る会 経営指針発表会 経営指針成文化で自身と向きあい見えた 新たな自社の姿を語りあう

11月18日（土）レイアップ御幸町ビル
11月19日（日）静岡駅前会議室LINK

今年6月から全11講で開催した県経営指針を創る会の経営指針発表会を11月18日（土）〜19日（日）に受講生13名、修了生17名で開催しました。受講生は自社の歴史、課題、想いと向き合い、第20期参加者と議論を交わし経営指針書を作成。発表では経営指針書をもとに社長の決意をはじめ、今後の経営について社員へ語りかけるように発表し、参加者から感想や意見を伝えました。最終講の終わりには受講生から参加しての感想と経営指針に基づく企業づくりへの意気込みを語りました。第1講から議論を重ねていく中で、励ましあって進めてきた創る会。受講生からは「目標にむけ共に高めあえる仲間ができました」と感想がありました。経営指針を作成したい、ブラッシュアップしたい皆さま、ぜひ来年度の経営指針を創る会へご参加ください。

第20期受講生からこれまで参加してきたの感想とこれからの決意を頂きましたので



紹介します。

（参加者感想）

会社と向き合い、自身と向きあった6ヶ月…その先に生まれた我が社の経営理念。経営理念を掲げたいと考えていたのは5年ほど前からのことです。ですが自分一人では作りたくても作り方がわからず、ずっと後回しになっていました。どんどん変わっていく企業さん経営者さんが共通して経験されていたのが、この「創る会」でした。私は、やっぱり理念を創りたい。その一心で同友会に入り、受講しました。

オリエンテーションの日から一講義ずつ、回を重ねながら考えることは、自社の振り返りと自身の心と向きあうことでした。そのために、「経営」とは、「理念」とは、「自社の事業の定義」とは…どれもすぐに答えることはできなかつたのですが、6ヶ月経った今、自社の在るべき姿と自身の思いが詰まった、我が社の経営指針書が完成したのです。これからはスタートであり、迷った時にはここに立ち返る場所ができたような気がしています。貴重な経験と皆さまとの出会いに感謝いたします。



福世 裕子氏

福世 裕子氏
（有）福世オートサー
ビス・榛南支部）

2023年12月15日(金)	県組織増強委員会 (17:00 事務局&ZOOM) 中遠例会 (19:00 未定)
16日(土)	第23回いのちばかぼか街かどクリスマス (障がい者問題委員会出展) (10:00 青葉公園シンボルロード)
19日(火)	県政策委員会 (18:00 事務局&ZOOM)
20日(水)	伊東忘年例会 (18:30 食処うめはら) 沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ) 志太忘年例会 (18:30 日本料理 魚一)
21日(木)	県理事会 (15:00 事務局&ZOOM) 富士例会 (19:00 富士市文化会館 ロゼシアター) 榛南忘年例会 (18:30 うおとも)
22日(金)	イントロセミナー (19:00 事務局&ZOOM) 浜松忘年例会 (18:00 洋風居酒屋 REGALO レガロ)

26日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM)
2024年1月6日(土)	榛南経済人4団体賀詞交歓会 (17:00 うおとも)
9日(火)	静岡新年例会 (19:00 ホテルグランヒルズ静岡)
10日(水)	御殿場例会 (19:00 エピ・スクエア)
11日(木)	正副代表理事会 (15:00 事務局&ZOOM) 浜松例会 (19:00 未定)
12日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川パイパス店)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》



同友会を使い倒そう新プロジェクトとして、静岡同友会ではオリエンテーションを開催しています。今回パートⅡ「真剣に語れる仲間ができた！」をテーマに、11月29日(水)静岡同友会会議室&ZOOMにて静岡支部の齋藤寧氏(株)齋藤組)に登壇頂きました。会活動で出会った仲間を「心友」と語る齋藤氏の好きな言葉は絶好調・最高。

齋藤氏は11年前に先代から社長を交代。交代時の社歴は96年。当時は振り返り、押しつぶされそうなる程の重圧を感じていたと話します。時同じくして同友会のイントロセミナーに参加し入会。その後第10期経営指針を創る会を受講。同期やスタッフとの関わりを通じ、自社への愛情が一層高まり、会社経営・自分経営は最高に面白い！と自身の変化を紹介しました。

その後、県青年部副部長や静岡支部地域交流委員長を経験されました。グループ討論では「同友会に入ってよかったこと・どう活用しているのか」を活発に討議しました。次回は3月開催です。多くのご参加お待ちしております！

真剣に語れる仲間ができた！
同友会オリエンテーション
パートⅡを開催！
参加者・26名

静岡大学連携講座

第6講

11月8日(水)

ワークライフバランスの実現へ！
中小企業だから出来る取り組み！



講師・宮本 浩氏
(大栄工業(株)・志太支部)

焼津市で防水・防熱工事業を行う宮本氏。結婚を機に義父から事業継承。社員が仕事に誇りとやりがい、喜びをもってもらうことが大切であると考え、社員一人ひとりをよく知るためコミュニケーションを大事にし、社員の悩みを受け止め、ワークライフバランスの改善を図っていると話しました。最後に受講学生へ「今しかできないことにチャレンジして、色々な世界を知ってほしい」とメッセージを送りました。

第8講

11月22日(水)

事業承継
想いをつなぎ、目指すは100年企業！



講師・関 那積氏
(株)中部特機設備・静岡支部)

空調・換気設備の設計から施工、保守まで行う関氏。事業承継を決意したきっかけは父からの一言でした。会社を継いでから関氏は先代の「お客様のためになる仕事をする」想いとご自身の「社員とその家族の幸せを大切に」想いを合わせた経営理念を創りました。学生には「今の時代、様々な情報媒体があります。色々なものに興味を持ち選択肢を広げてください。そして、就職の際には経営者の思いに共感できるか、その判断基準を大切にしてください」と伝えました。

※第7講は講義を行っていないため掲載はありません